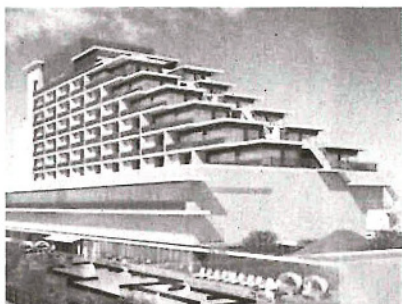


# ミナト神戸 突堤に

## 海臨む旅館・温浴施設、来年開業

神戸港メリケン波止場の向かいにある新港第1突堤に、天然温泉がわいた。神戸市の公募で選ばれたホテル事業者が掘削したもので、来年12月、突堤にこの温泉を生かした都市型旅館や、日帰り利用できる温浴施設を開業する。狙いはシルバークラスや外国人観光客で、新たな神戸の観光施設になりそうだ。

掘削したのは中突堤近くにあ  
る「ホテル ラ・スイート神戸  
ハーバーランド」を経営する株  
式会社「ラスイート」(大阪市  
天王寺区)。新港第1突堤の再  
開発を目指す神戸市の公募に選  
ばれ、今年1月に温泉掘削に成  
功。地下11.50メートルから約40度  
の湯が毎分320リットルわき出し、  
「神戸みなと温泉」と名付け



新港第1突堤にできる都市型旅館の完成予想図



露天風呂の完成予想図—  
いずれもラスイート提供

た。これを生かして、同社は展望大浴場がある旅館を建設。鉄骨10階建て延べ約1万3千平方メートルで、地の利を生かして90の客室はすべて海に臨む。全室に洋室と和室を備え、和室に布団を敷いて寝ることもできる。

ホテルには天然温泉の温浴施設を併設し、大浴場や打たせ湯、ジムを設置。屋外には露天風呂や温泉プールも作り、日帰り客でも利用できるようにする。突堤の先端側には鉄骨2階建て約3300平方メートルのコンベンション施設の建設も予定している。総事業費は約80億円。

都市部ながら旅館にこだわることで、年配客や外国人客の取り込みを狙う。同社の関寛之社長は「新港エリア再開発のトッパッターとして、新たな神戸の魅力となるような施設にしていきたい」と話している。